

敗血症



敗血症とは？

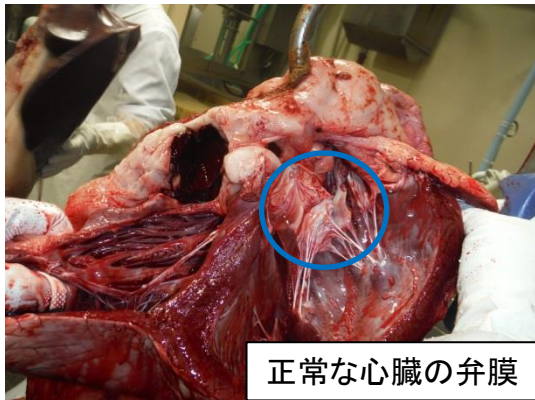
◆血液中の細菌が増殖し、全身症状を引き起こした状態をいいます。

【症状】

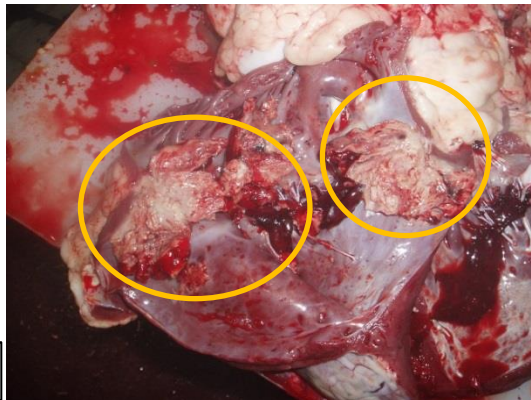
発熱、心拍数の上昇、呼吸数の増加、白血球の増加など。

【と畜検査で見つかる異常】

全身リンパ節の腫脹、疣贅性心内膜炎、腎臓の点状出血、肝臓の後大静脈血栓症等。



正常な心臓の弁膜



←疣贅性心内膜炎

心臓に逆流を防ぐための弁膜があり、ここに細菌が増殖し疣贅(ゆうぜい)とよばれるカリフラワー状のイボを形成します。

このイボが感染巣となり敗血症を引き起こします。



←肝臓の後大静脈血栓症

肝臓の後大静脈に血栓がつまっている。



心臓から分離された *Trueperella pyogenes*

【滋賀県食肉衛生検査所の廃棄基準】

- ①全身性の症状を呈し、血液中に菌の存在が確認されたもの。
- ②病理学的に敗血症を疑う所見を呈し、臓器、リンパ節、枝肉のいずれかの2力所以上から同一の菌種が分離されたもの。
- ③病理学的に敗血症の一般所見を呈するもの。すなわち、皮下織の出血、主要臓器(心臓、肝臓、脾臓、腎臓、乳房など)の混濁腫脹、出血、臓器付属リンパ節ならびに躯幹リンパ節の腫脹、出血等の多くの所見を呈するもの。

【当所での発生状況 年度別廃棄頭数】

		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
牛	敗血症頭数/ 全廃棄数	4/14 (28.6%)	3/17 (17.6%)	1/15 (6.7%)	5/14 (35.7%)	2/12 (16.7%)
豚	敗血症頭数/ 全廃棄数	2/10 (20%)	0/5 (0%)	0/3 (0%)	1/7 (14.3%)	0/4 (0%)